

つくば市民白書 2012 実行委員会 第 13 回会合議案

日時：2011 年 7 月 23 日(土)14:00-16:00

場所：市民活動センター

議題：

- (1) 報告(経過、その他)
- (2) 協議
- (3) その他
- (4) 第 1 回編集委員会

(1) 報告

①経過報告

7 月 2 日(土) 第 12 回実行委員会

7 月 12 日(火)「自治基本条例を考える市民の会」第 2 回会合

7 月 23 日(土) 第 13 回実行委員会、第 1 回編集委員会

(2) 協議

(3) 次回第 14 回実行委員会、第 2 回編集委員会

8/20(土), 21(日) 27(土), 28(日) 9/3(土), 4(日) 9/10(土), 11(日)

9/17(土), 18(日)

(4) 第 1 回編集委員会

- ・2012 年白書の構成
- ・執筆者選定、執筆要項などについて

(別紙 1 : 第 12 回会合まとめ)

つくば市民白書 2012 実行委員会 第 1 2 回会合まとめ

日時 : 2011 年 7 月 2 日 (土) 14:00-16:00

場所 : 市民活動センター

出席者 : 河村、緒方、亀山、野崎、原田、山本、寺門、矢澤、小川

議題 :

- (1) 報告 (経過、立ち上げシンポ)
- (2) 協議
 - ・ 白書構成
 - ・ 編集委員会構成
- (3) その他

(1) 報告

①経過報告

前回 11 回実行委員会 (5 月 7 日 (土)) のあと、6 月 18 日 (土) につくば市民白書 2012 立ち上げシンポジウムを開催した。

②立ち上げシンポジウム報告

2011 年 6 月 18 日 (土) つくば市市民活動センター会議室で 15 名の参加で 13:00-16:00 に開催した。収入は 4200 円 (300 円未収) であった。河村氏が「まとめ」に従って説明し、意見を出し合った。

まとめの主な内容 :

白書作りは、白書の発行がゴールではなく、市民に読んでもらい改革に生かされることがゴールである。実行委員会は市民の意識を変える手助けになることを重視したい。

各論 :

(市政と議会)

野口さんは現状の解析を行った上で自治基本条例と議会基本条例を中心に改革を提案した。これに対して、市が主導している自治基本条例つくりの動きに対して市民ネットなどの批判的な自主活動が紹介された。風車問題の進展をまとめる必要があることが指摘された。そのほか市原市政 4 年の総括、パブリックコメントの意見と回答の解析、公募型市民助成、公民館問題などのテーマが提起された。

(財政)

亀山さんの構成案をもとにする。TX 沿線開発はまちづくりで取り上げる。

(医療福祉)

横井さんの報告をもとにする。保育所をどこにするか教育と調整する。

(教育)

寺門さんは養護学校の解析と通常校を含めた教育全体の問題を提起した。

(まちづくり)

河村さんは町づくりの課題を 6 項目整理した。TX 沿線開発は酒井さん、高齢者は久富さん、地域格差を小川さん、地域コミュニティは筑穂の小野さん、地域防犯は稲荷前地区の人など候補が提案された。子育て、学校教育、医療福祉はそれぞれ医療福祉、教育の項にまわす。

(環境行政)

矢澤さんはつくば環境スタイルの項目を説明した。市民活動の停滞は行政の働きかけがないからではないか。市政の項のパブコメ、助成問題と関連する。

(産業と観光)

早川さんのシンポ原稿と、事例報告を組み合わせるとよい。

(科学技術と平和)

これは担当者未定で、報告もなかった。学研労協と相談する。

(2) 協議

①白書の構成

シンポ報告と意見交換に引き続き、白書の構成について協議を行った。立ち上げシンポ資料の構成案をもとに、各担当者が各項の内容を拡充する。担当はグループでもよい。執筆者は実行委員会で承認し、正式な執筆依頼を行う。

②編集体制

編集委員会は代表、事務局長、各担当で構成し、山本さんに再度編集委員長をお願いすることとなった。白書の内容に関して今後は編集委員会で扱う。原則として実行委員会開催時に編集委員会を開催する。次回は7がつ23日(土)。

③スケジュール

7月から編集作業が主な活動になる。次回実行委員会で執筆依頼状、書式など決める。第1次執筆者も決定する。

11～12月に中間検討会を開くこととし、10月から準備を始める。12月に最終的なページ数、印刷部数、価格、費用などの検討をはじめ、1月に頒布計画を作成する。2月に出版シンポジウムの準備を始める。3月に最終稿完成、印刷屋出稿、4月に完成、シンポジウム、頒布開始。

(3) その他

①風車問題公開質問状について

亀山さんより風車問題の訴訟に関して最高裁判決がひとつは下り、もうひとつは7月上旬にでるだろうとの報告があった。これらによりつくば市は行政的な対応を取らなければならなくなるが、実際には行わない可能性が高く、その場合つくば市に対して公開質問状を出したいが、実行委員会も参加してほしいとの要請があった。協議の結果、今回は決定せず、必要に応じてメールなどで意見をとりまとめることにした。

(4) 次回第13回実行委員会

7月23日(土)14:00-17:00、つくば市、市民活動センターで開催する。

主な議題は、編集委員会からの執筆依頼状、執筆要項などの承認、執筆者の選定である。

(以上)

編集委員会に関連する資料 (これまでの実行委員会の議論よりまとめたもの)

(1) 編集委員会

委員長：山本千秋

委員：実行委員会代表(河村俊次)、実行委員会事務局長(原田 泰) 各章担当者(野口修、亀山大二郎、横井美喜代、寺門宏倫、矢澤容子、早川公)

	実行委員会	編集委員会
任務	執筆ガイドラインの決定 目次案の決定 会計管理	ガイドラインの作成 執筆者の選定、執筆依頼 目次構成の調整
編集	執筆者、執筆内容の確認 最終稿の確認	原稿作成過程の管理 印刷所との交渉
関係	課題を検討し必要に応じて指示を行う	状況報告、課題の提起

(2) 編集方針

- (1) つくば市民白書2012の編集作業は、実行委員会のもとに設置された編集委員会が行う。
- (2) 白書の発行責任は実行委員会が負う。
- (3) 個別論文の内容に関しては、執筆者が責任を負う。

(3) 2008年版、2012年版の比較

2008年版

2008年版 タイトル：「つくば市民白書 2008、市民の 目でみたつくばの今」 発行者：つくば市民白書実行委員会 頒布価格：500円 印刷部数：1500(第1刷1000、第2刷500)	A4版、140ページ、表紙 カラー印刷、本文 モ ノクロ 実行委員：5団体、14個人 編集チーム：5名 執筆者：43団体、個人 頒布状況(2009.12.18)：総計 1515 贈呈 112、団体扱い 210、個人扱い 932、 書店等 189、事務局残 72
--	--

2012年版

タイトル： 「つくば市民白書2012-(サブタイトル未定) 発行者：つくば市民白書2012実行委員会 頒布価格：800円 印刷部数：2000(贈呈200、頒布1800)	A4版、140ページ 表紙 カラー印刷 (予算) 総額130万円(印刷費 80万円、その他50万円) 収入見込み：800円×1800=1,440,000円
--	--

<p>0 前文、目次など</p> <p>1 市政と議会 野口 (特別)自治基本条例 行政組織に関する組織、運営問題 つくば市の議会の問題 情報公開、市民協働</p> <p>2 財政 亀山 (特別)つくば市の財政問題</p> <p>3 医療と福祉 横井 国民健康保険 市立病院 高齢化</p> <p>4 教育と文化 寺門 (特別)「教育日本一」の実態 保育所、幼稚園、小中高 文化行政公民館の地域交流センター化 男女共同参画</p> <p>5 まちづくり 河村 (特別)TX 沿線開発 中心市街地と周辺地域(北と南の高齢化過疎化) 地域コミュニティ問題 公務員宿舎の跡地 防災(東日本大震災の対応と市民のボランティア活動、つくば市の防災対策)</p>	<p>6 環境 矢澤 (特別)つくば環境スタイルと低炭素社会づくり つくばスタイル 環境行政 市民の活動 二酸化窒素測定運動</p> <p>7 産業と観光 (早川) つくば市の産業 農業、商業、工業、その他 産業振興 つくば市の観光</p> <p>8 科学技術と平和 大学、研究機関と市民生活 原子力行政 つくば市と市民の平和への取り組み</p> <p>付属資料 実行委員会の紹介(活動、メンバー) あとがき</p>
--	--

え

③スケジュール

2011年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・第12回実行委員会(7/2)構成の確認、執筆依頼者の選定 ・執筆依頼、原稿執筆順次開始
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆依頼、原稿執筆
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆依頼、原稿執筆、内容調整
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆依頼、原稿執筆、内容調整 ・中間検討会準備
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆依頼、原稿執筆、内容調整 ・(11~12月)中間検討会
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・執筆依頼、原稿執筆、白書構成検討
2012年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次稿完成、構成検討、追加原稿 ・頒布計画作成
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次稿完成 ・出版シンポジウム準備
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・最終稿完成、印刷屋へ出稿
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・完成 ・記念シンポジウム ・頒布開始